

# MOCX Green Buildings NEWS

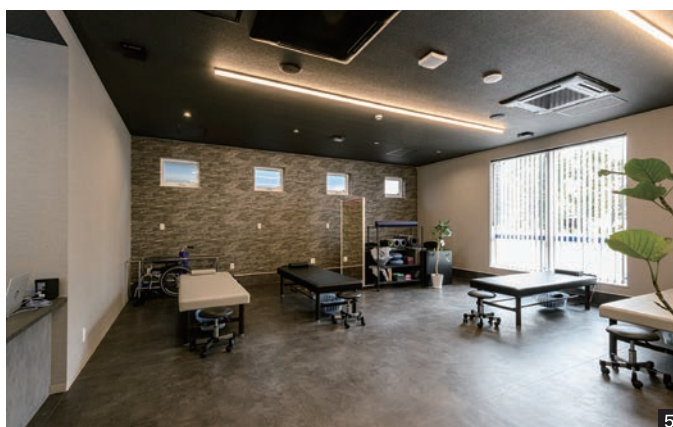
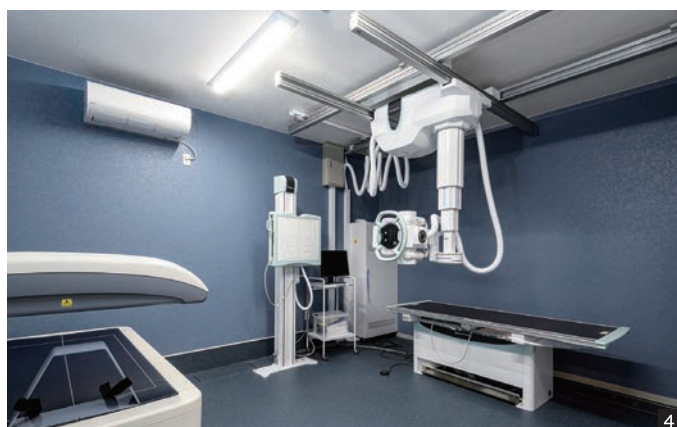
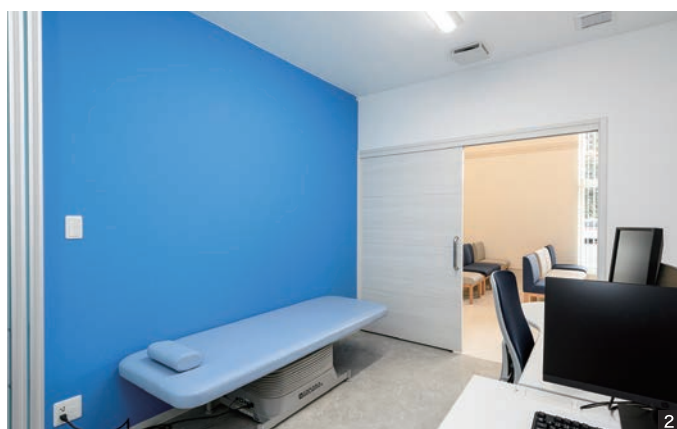
「愛着ある土地を、愛される場所にしたい」  
オーナー様の想いに応えるクリニック実例

Vol.3  
2025.11

北海道版



MITSUI HOME



1.帯広の澄んだ青空に映える白壁が目を引く平屋。クリニック名の隣にワンポイントで入る青いロゴは、陽が沈むと取り付けられたLEDライトが青く光り、夜間もクリニックの存在をアピールしてくれます。2.天井が高く、患者さんに圧迫感を感じさせない診察室。壁の一面にブルーのアクセントクロスを入れることで、爽やかな雰囲気演出。3.診察室のすりガラスの引き違い戸の裏はバックヤードになっており、レントゲン室やリハビリ室に先生がスムーズに行き来できる。4.レントゲン室には吊り下げ型のX線透視装置を設置。神経根ブロック注射は松盛院長が自らレントゲン透視を行う。5.筋力強化に重きを置いたリハビリ室は、黒を基調にしたトレーニングジム風のデザインに。

## INTERVIEW

## スマートな動線で効率的に医療を提供 地域に根ざしたクリニックを目指す

帯広の森運動公園に程近い閑静な住宅街に、2025年7月に開院した「あすか整形外科・脊椎クリニック」。木造平屋建の建物は、帯広の澄んだ青空に映える爽やかな白壁と大きな窓が印象的です。取材時は、まだ開院して3ヵ月目でしたが、早くも高い評価を得ています。

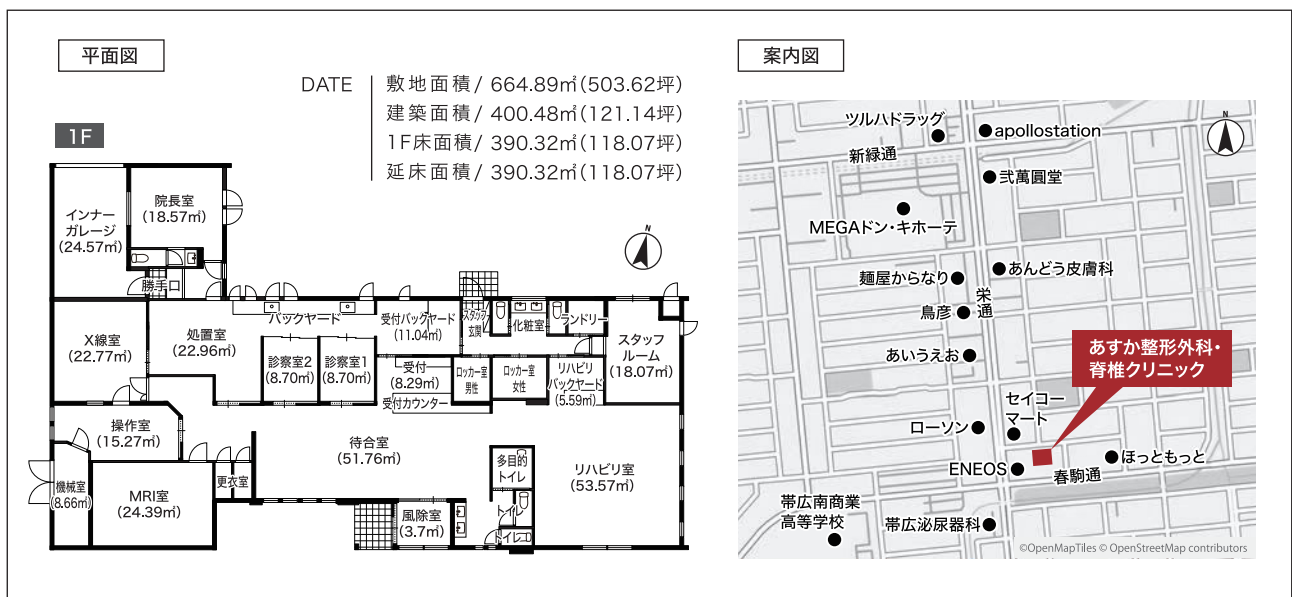
院長は脊椎疾患の専門医である松盛寛光先生。治療方針は初診から薬物治療、リハビリ治療まで院長自らが対応。予防医療に重きを置き、リハビリに力を入れています。特徴的なのは、一般的なりハビリ室にある牽引装置などの装置が一切ないこと。トレーニング用のベッドが整然と並ぶリハビリルームは、さながらジムのような雰囲気です。「腰痛に対する『牽引』には意味がないと考えています。根本的な改善には筋力の強化が必要。当院では患者さんが自宅で簡単に取り組める効果的なトレーニングメニューを指導し、『いつか通わなくてよくなるクリニック』を目指しています。税理士の先生などからは、通い続けてもらう方が利益になるのにと冗談を言われますが(笑)」と屈託のない笑顔で話す松盛先生。この鷹揚な人柄もクリニックの魅力の一つです。

クリニックの建設は2024年10月にスタートし、2025年5月に竣工。間取りでこだわったのは、診察室からリハビリ室とレントゲン室へとつながる動線です。待合スペースからつながる患者さん用のルートとは別に、診察室から処置室などがあ

るバックヤードを通過してスムーズに移動できるルートを設定しました。「限られた時間の中で、診察からレントゲン室での神経ブロック注射、リハビリ中の患者さんへの回診をスムーズに行うため、動線設計は念入りに相談させていただきました。ご提案いただいたプランには満足しています」(松盛先生)。インテリアに関しては、三井ホーム北海道の専属インテリアデザイナーにほぼ一任。デザインのコンセプトには、「真冬の晴れた日の、雪原の白と、快晴の空の青のコントラストが好きなんです」(松盛先生)という先生の好みを反映させました。白を基調とした空間に、ブルーを差し色として効果的に使うことで爽やかな印象を演出しています。「待合室の間接照明や大きな窓も気に入っています。営業担当さんにご提案いただいた際は、半信半疑だったのですが(笑)」。待合スペースの床から天井まで広がる掃き出し窓から注ぐ爽やかな日差しが、無機質になりがちな待合スペースに温もりを添えています。現在、スタッフは11名。リハビリ治療の評判は想定以上で、今後は理学療法士さんをさらに増員する予定だとか。「三井ホームに頼んで本当に良かったと思っています。リハビリ室を拡張する際にはまたご相談したいですね(笑)」。開院からの滑り出しはいたって順調なようです。



松盛寛光 先生



あすか整形外科・脊椎クリニック

〒080-2470 帯広市西20条南4丁目38番5号 TEL.0155-65-0816

<https://asuka-spine.jp/>

「愛着ある土地を、愛される場所にしたい」

土地活用は三井ホーム

木造医院  
建築実績  
No.1<sup>\*</sup>

# 三井ホームの 木造医院建築



※2014年度～2021年度累計 住宅産業研究所調べ ※住宅併用でない木造委員建築の新築着工棟数実績 ※一部データ欠損エリアがあります、詳しくはお問い合わせください

## ドクターズレントハウス®

ドクターズレントハウスは資産活用を計画される土地オーナー様に土地・建物をご提供いただき、開業を希望されるお医者様にご入居いただく「賃貸医院」です。

[適している立地条件・面積など]

- 診療圏調査による来院患者数が見込める立地
- 通りからの視認性が良い ● バス通りなど生活動線にある
- 概ね60坪以上 ● 住宅街に立地していることが望ましい

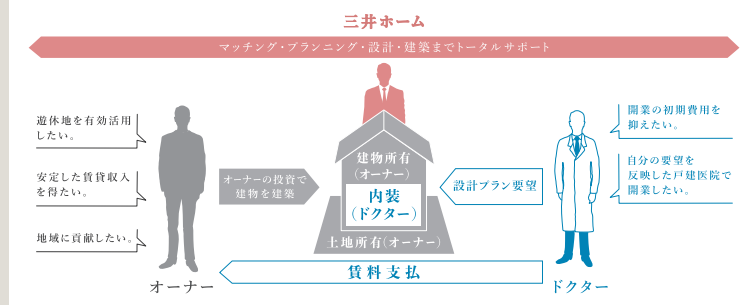


六本松リウマチ膠原病クリニック



小金井 竹田内科・小児科・在宅クリニック

### ドクターズレントハウスの仕組み



三井ホームの医院建築

## WITH DOCTORS

会員様専用コンテンツ

独立開業をご検討されている先生はもちろんのこと、開業医として活躍中の先生の医院建替えやリフォーム、事業承継、資産についてのご相談まで、ご登録いただいた先生方のご相談やご計画の内容に合わせた資料と情報をお届けします。